



もっと、もっと知ってほしい



児童養護施設



全国児童養護施設協議会（全養協）



(児童養護施設で働く人って?)

🍀 子どもたちを支える 専門職

児童養護施設では、子どもたちの日々の養育を担う児童指導員や保育士を始め、食事・食育を支援する栄養士や調理員、子どもの心理面をサポートする心理療法職員、地域の子育てを支援する職員など、様々な専門職がチームとなって、子どもたちの生活を支えています。

児童養護施設の「養育」とは

子どもたちが、自分の存在を肯定的に捉え、「生まれてきてよかった」と感じられるようになるためには、安心して自分を委ねられるおとな(養育者)の存在が必要です。
心のこもった食事が用意され皆で食卓を囲むこと、部屋がいつも大切に手入れされていること、言葉や振る舞いがさり気なく配慮されていること…。児童養護施設における「養育」は、これら一見、些細で平凡な日々の営みの中に、実は自然によく考えられた日常生活の積み重ねと、安定した継続を通して行われています。

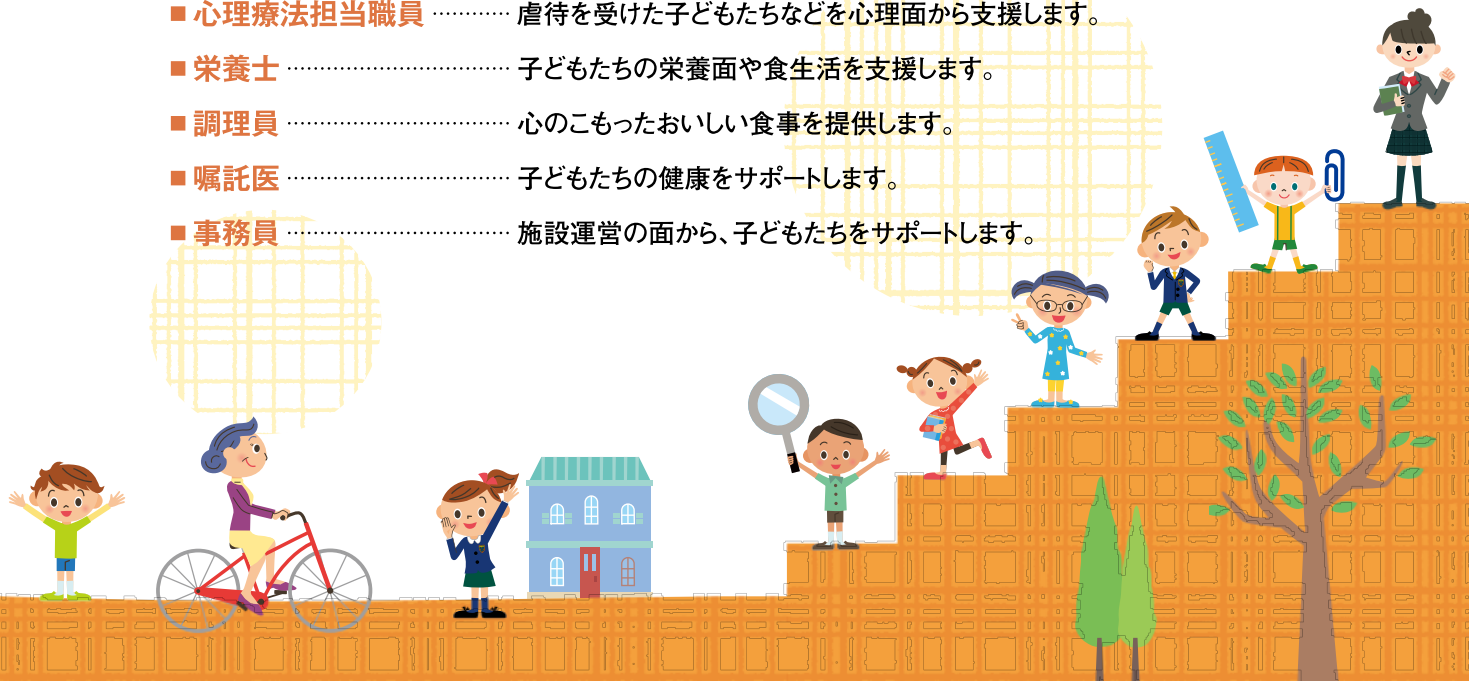
🍀 職場であり家庭である

児童養護施設は、子どもたちが日々の生活を送る「家」です。子どもたちにとって、ともに「家」で時間を過ごす職員は、家族のような存在でもあります。児童養護施設は職場であると同時に家庭であり、職員は職業人であると同時に、子どもに寄り添う一人の養育者でもあります。



🍀 児童養護施設で 働く主な専門職

- **児童指導員／保育士** …… 保護者に代わり、子どもの養育の中心的役割を担います。
- **家庭支援専門相談員** …… 保護者などへの支援を通じて、親子関係の再構築を図り、子どもの家庭復帰などを支援します。
- **里親支援専門相談員** …… 里親委託の推進や地域の里親の支援を行います。
- **個別対応職員** …… 虐待を受けた子どもたちに、個別に充実した支援を行います。
- **心理療法担当職員** …… 虐待を受けた子どもたちなどを心理面から支援します。
- **栄養士** …… 子どもたちの栄養面や食生活を支援します。
- **調理員** …… 心のこもったおいしい食事を提供します。
- **嘱託医** …… 子どもたちの健康をサポートします。
- **事務員** …… 施設運営の面から、子どもたちをサポートします。





(児童養護施設の暮らしって?)

特別ではなく、ふつうの生活

「おはよう」のあいさつで一日が始まり、朝ごはんを食べて、歯磨きをしたら、「行ってきます」と地域の学校や幼稚園へ登校します。学校が終われば、クラブ活動をしたり、友だちと遊びに出掛けたり、宿題や読書をする子もいます。おいしい夕食と楽しい時間を過ごしたら、「おやすみ」と温かい布団で眠りにつきます。どこの家庭にもある風景が、児童養護施設でも日々営まれています。

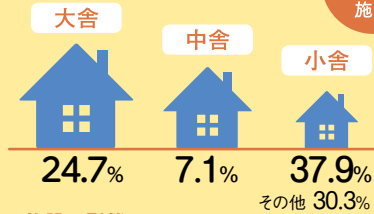


より家庭に近いスタイルへ

児童養護施設は、子どもたちが共同で生活しています。現在、より家庭に近い養育環境を整えるため、少人数グループでの生活を基本とする、施設の小規模化に向けた取組みを進めています。

施設形態の例

約
600
施設



●施設の形態について

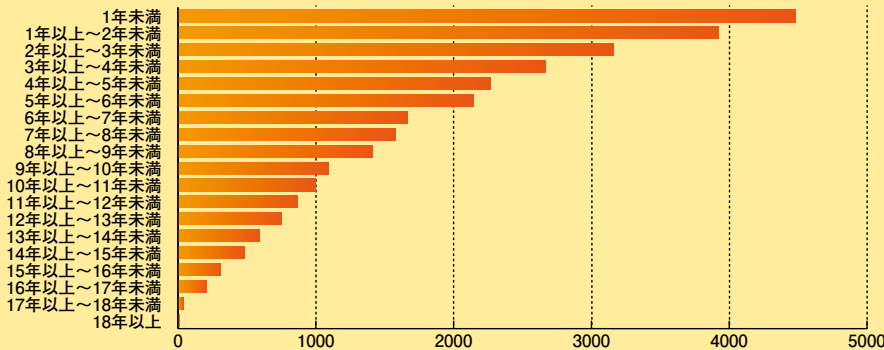
大舎:1舎20人以上 中舎:1舎13人~19人
小舎:1舎12人以下 その他:大・中・小舎の複合
■平成30年度全養協調べ

年長児童の将来の希望

	1位	2位
男(中3)	スポーツ・芸能・芸術 12.4%	大工・建築業 8.7%
女(中3)	先生・保育士・看護師等 21.4%	飲食業・調理等 11.8%
男(高3)	工場に勤める 13.2%	先生・保育士・看護師等 9.3%
女(高3)	先生・保育士・看護師等 18.9%	飲食業・調理等 13.4%

■厚生労働省「児童養護施設入所児童等調査結果」(平成25年2月1日現在)をもとに作成

児童の在所期間



「1年未満」が最も多く、期間が長くなるに従い児童数が漸減している。

■厚生労働省「社会的養護の現況に関する調査」(平成28年3月1日現在)をもとに作成



